

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 5GF (2019.09)

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

コードレスハンマードリル GBH 18V-26D Professional



取扱説明書

このたびは、弊社コードレスハンマードリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



目 次

●一般安全規則	2
●安全上のご注意	6
警告表示の区分	6
コードレス電動工具全般についての注意事項	6
コードレスハンマードリルについての注意事項	13
●バッテリーを長持ちさせるために	20
●リサイクルのために	21
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	21
コードレス電動工具（本体）の廃棄について	21
●本製品について	22
用途	22
標準付属品	22
各部の名称	23
仕様	24
●使い方	25
バッテリーを準備する	25
作業前の準備をする	27
作業する	34
●困ったときは	40
故障かな?と思ったら	40
修理を依頼するときは	41
●お手入れと保管	42
クリーニング	42
点検	42
保管	43

安

全

つ
バ
ッ
テ
リ
ー
に
て

の
リ
サ
イ
ク
ル
に

つ
本
製
品
に

使
い
方

困
っ
た
と
き
は

保
お
手
入
れ
と
管

一般安全規則

安
全

警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。
下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。
下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示します。
次の事項を順守してください。

a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

b) 電氣的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。
身体が接触すると、感電する危険が増大します。
屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。
- 3) 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。電動工具に水が入ると、感電する危険が増大します。

- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。
- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。

安

全

c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関する危険を低減することができます。



d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱っていない人に渡すと、危険です。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各部品の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。
- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

e) コードレス電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 2) 弊社が指定した充電器だけで再充電してください。バッテリーに適さない充電器を用いると、火災の危険があります。

- 3) 電動工具は、指定された専用のバッテリーのみを使用してください。指定外のバッテリーを使用すると、人的被害および火災をもたらす恐れがあります。
- 4) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、バッテリー端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災をもたらす恐れがあります。
- 5) 過酷な条件のもとでは、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

安
全

f) 整備




電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

安全上のご注意

安
全

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。




- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたコードレスハンマードリルには、当てはまらない項目も含まれています。

 **危 険**

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

工具体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

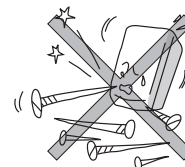


3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

安
全

8. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。

◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

 警告

1. 正しく充電してください。

- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ コードレス電動工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、



4. 保護めがねを使用してください。

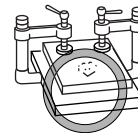
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス電動工具を使用できます。



7. 次の場合は、コードレス電動工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。


12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

13. 充電機以外のバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。

安

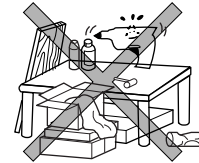
全

 **注 意**

安
全

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人には、絶対に使用させないでください。

子供や知識のない人が使用すると、事故の原因になります。

◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

◆ コードレス電動工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。

◆ 安全に能率よく作業するために、コードレス電動工具の能力に合った速さで作業してください。

◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. 作業に合ったコードレス電動工具を使用してください。

◆ 小型のコードレス電動工具やアタッチメントは、大型のコードレス電動工具で行う作業には使用しないでください。

◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. きちんとした服装で作業してください。

◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。

◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



7. コードレス電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



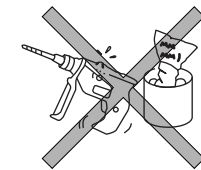
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ コードレス電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないコードレス電動工具は、使用しないでください。



14. コードレス電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方はコードレス電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ コードレス電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

コードレスハンマードリルについての注意事項

コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、コードレスハンマードリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

安

全

警告

1. 作業の条件・内容を考慮して、目的に合った電動工具を用意し、アクセサリーを選定してください。
 - ◆ 目的に合っていない電動工具の使用は、事故やけがの原因となります。
2. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、コードレス電動工具本体に支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
3. 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
4. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
 - ◆ 発煙・発火の原因になります。
5. 疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、使用しないでください。
 - ◆ コードレス電動工具操作中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。



6. 保護面や保護めがねなどの保護具を着用してください。必要に応じて、防じんマスクや防音保護具（耳栓など）、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、手袋、作業用エプロンを着用してください。

- ◆ 防護用具を着用することで、けがの防止につながります。
- ◆ 防音保護具（耳栓など）を着用することで、騒音による被害を防ぎます。（高強度の騒音に長い時間さらされると、難聴の原因となります）

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。コードレス電動工具に集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

- ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

8. この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリー以外は使用しないでください。

- ◆ 指定されたアクセサリー以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。

9. 損傷したり、改造したりしたバッテリーやコードレス電動工具を、絶対に使用しないでください。また、絶対に修理しないでください。

修理は必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。

- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり改造したバッテリーやコードレス電動工具を使用すると、予想外の動きをして、コードレス電動工具をコントロールできなくなる恐れがあります。

10. 使用に問題がないことを確認してください。
取り付けは間違いないか、可動部分が正しくしっかりとセットされているか、各 부품の損傷がないか、その他問題がないかチェックしてください。損傷などがあった場合は使用せず、修理をご依頼ください。

- ◆ 多くの事故は、点検作業を怠ったときに起きています。
- ◆ 損傷したコードレス電動工具を使用すると、故障や思わぬ事故の原因になります。

11. 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。必ず「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ」が“安全ロックの位置（中央）”になっていることを確かめた上で、バッテリーを取り付けたり、コードレス電動工具を持ち上げたりしてください。

- ◆ “安全ロックの位置（中央）”になっていない状態でバッテリーを取り付けたり、スイッチ部分に指が触れたりすると、事故の原因になります。

12. 雨中での作業は行わないでください。また、コードレス電動工具を雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。

- ◆ 本体に水が入ると、感電の恐れがあります。

13. 可燃物の近くでコードレス電動工具を使用しないでください。

- ◆ 火花で可燃物が発火する恐れがあります。

14. 作業中は、必ず絶縁されたグリップ面でコードレス電動工具を保持してください。

- ◆ 先端工具が通電している電線に接触し、コードレス電動工具の金属部に電気が流れると、感電の恐れがあります。絶縁部で保持していると、感電する危険が小さくなります。

15. 作業中に振り回されないよう、コードレス電動工具にしっかりとサイドハンドルを取り付け、本体を確実に保持して作業してください。

- ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。

安

全



16. 作業中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。

◆ けがの原因になります。

17. 作業中にコードレス電動工具の調子が悪かったり、異常音が生じたときは直ちに「スイッチ」を切ってください。使用中を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、けがの原因になります。

18. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、コードレス電動工具が冷めるための時間を設けてください。

◆ 複数個による連続作業は、コードレス電動工具に支障をきたすばかりでなく、コードレス電動工具の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。

19. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医師の診断を受けてください。

◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。

20. バッテリーを乱暴に扱っていると液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

◆ バッテリーから漏れた液は、炎症や火傷をもたらす恐れがあります。

21. 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、調整・付属品の交換・保管をするときは、必ずコードレス電動工具からバッテリーを取り外してください。

◆ バッテリーを取り付けたままにすると、けがの原因になります。

22. 作業中は、関係者以外の人や子供を近づけないでください。

◆ 気が散ると集中できなくなります。

23. 「電子無段変速スイッチ」を引き込んだまま、コードレス電動工具を持ち運ばないでください。

- ◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。

24. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、先端工具やコードレス電動工具などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

- ◆ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

25. 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鋳物や金属への作業から発生する粉じんは、健康に悪影響を与える恐れがあります。作業者や見学者が粉じんを触ったり吸い込んだりすると、アレルギー反応、あるいは呼吸器感染症を引き起こす可能性があります。

特に樫材やブナ材から出る粉じん、木材処理添加物(クロム酸、防腐剤)は発がん性があると考えられています。

アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。

- ・ できる限り、材料に合った吸じん装置を使用してください。
- ・ 作業場所の換気に注意してください。
- ・ D S 2 クラス以上のフィルター付き防じんマスクの着用をお勧めします。
- ◆ 作業場で粉じんの堆積は避けてください。容易に発火する恐れがあります。

26. 使用しないときは、子供の手の届かない安全な場所に保管してください。また、コードレス電動工具の取り扱いや手順に不慣れな人には操作させないでください。

- ◆ 教育を受けていない人の操作は大変危険です。

27. バッテリーを開けないでください。

- ◆ 短絡の恐れがあります。

28. バッテリーは、釘やドライバーなど、尖ったものや外からの強い力で傷つく場合があります。

- ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。

安

全


29. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所や水気・湿気のある場所の近くに置かないでください。

◆ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。

30. 安全上のご注意は、必ず守ってください。

◆ コードレス電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。コードレス電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。



 **注 意**

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 先端工具類は手入れをし、鋭利さを保ってください。
 - ◆ 鋭利なら、ストレスなくコードレス電動工具がコントロールできます。
3. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
4. 作業直後の先端工具や切り粉などは高温になっていますので、触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ◆ 材料やコードレス電動工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
6. 細径のビットは折れやすいので注意してください。
 - ◆ 飛散して、けがの原因になります。
7. 先端工具が完全に停止するまでは、コードレス電動工具を床やテーブルなどに置かないでください。
 - ◆ 先端工具が回転していると、けがの原因になります。
8. コンクリートに穴あけを開始するとき、または軽破つりをするとき、コンクリートの小片が飛び散ることがありますので注意してください。
 - ◆ 保護メガネを着用することで、けがの防止につながります。
9. コンクリートに細径の穴をあける際、急に切り粉が勢いよく噴き出すことがありますので注意してください。
 - ◆ 保護メガネを着用することで、けがの防止につながります。

安

全

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間（6か月以上）使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

つ
バ
ッ
テ
リ
ー
に
て

リサイクルのために

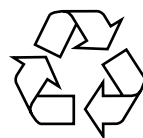
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポツシユは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポツシユ電動工具取扱店、ポツシユ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

のリ
サイ
クル
に
ル

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出ください。

コードレス電動工具（本体）の廃棄について

バッテリー以外のコードレス電動工具本体および付属品（充電器など）の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

本製品について

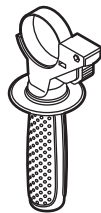
用途

- ◆ コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ
- ◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ
- ◆ ネジの締め・緩め
- ◆ コンクリート、石材などの軽度の破つり（こわし、タイルはがし等）
- ◆ 内部コーン拡張型アンカーの打設

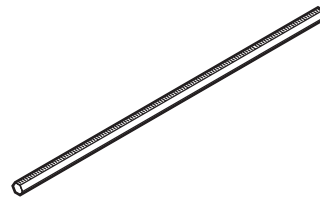
☞ LED ライト⑥の灯りは、作業を行う個所を照らすもので、家庭用の部屋の照明には適しません。

標準付属品

つ本
製
い
品
てに



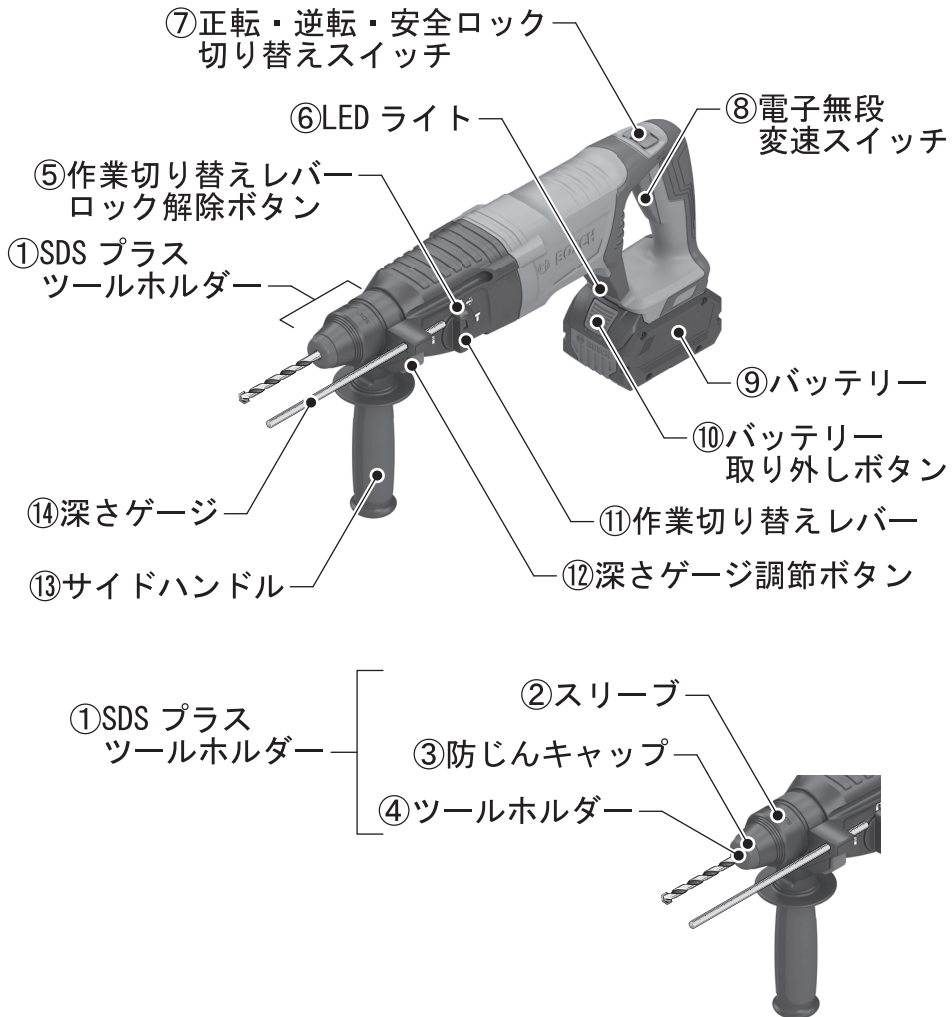
サイドハンドル
(本体装着済み)



深さゲージ
(本体装着済み)

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

各部の名称



◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

型 番	GBH18V-26D
定格電圧	DC18V
消費電力 (入力)	425W
回転数 (無負荷時)	0~980min ⁻¹ (回転/分)
打撃数 (無負荷時)	0~4350min ⁻¹ (回/分)
打撃力	2.5J (EPTA プロシージャー05/2016 に準拠)
穴あけ能力 (最大径)	
コンクリート	
SDS プラスビット使用時	26mmφ
コア使用時	68mmφ
鉄 工	13mmφ
木 工	30mmφ
質量 (バッテリーを含む) *1	3.0~3.5kg (EPTA プロシージャー01/2014 に準拠)
サイドハンドル取り付け部径	50mmφ
充電可能周囲温度範囲	0℃~+45℃
使用*2/保管可能周囲温度範囲	-20℃~+50℃
振動 3軸合成値	
ハンマードリル時	15.5m/s ² 、k=1.5m/s ²
破つり時	10.0m/s ² 、k=1.5m/s ² (EN60745-2-6 規格に基づき測定)
原産国	ドイツ

*1 使用するバッテリーの容量により異なります。

*2 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

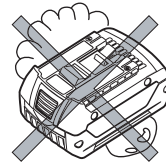
本
製
品
に
対
し

使い方

バッテリーを準備する

● バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



● バッテリーを充電する

充電については、『充電器の取扱説明書』をお読みください。

● バッテリーを取り付ける・取り外す



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が“安全ロックの位置（中央）”になっていることを確認してください。
- ◆ この取扱説明書に指定してあるバッテリー⑨を取り付けてください。

使
い
方

取り付け

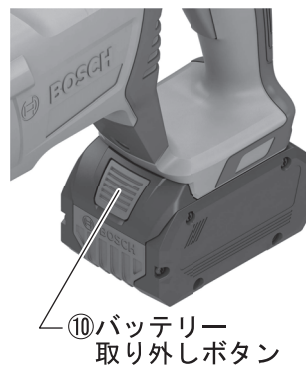
バッテリー⑨を、ハンマードリル本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

☞ 本機は、「バッテリー取り外しボタン⑩」が押されただけではバッテリー⑨が外れないよう、バッテリー⑨の取り付けが二重ロックになっています。

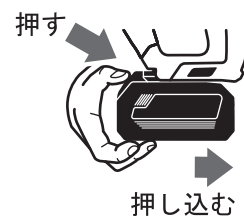
注意 ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。



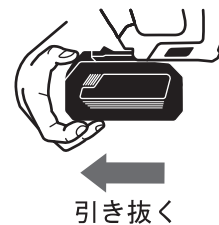
取り外し



1. バッテリー⑨を矢印の方向に押し付け、「バッテリー取り外しボタン⑩」を押します。



2. 「バッテリー取り外しボタン⑩」を押したまま、バッテリー⑨を引き抜きます。



作業前の準備をする

● サイドハンドルの位置を調節する



警告

◆ けがの発生を防ぐため、サイドハンドル⑬の位置を調節するときは、ハンマードリル本体からバッテリー⑨を取り外してください。




1. サイドハンドル⑬のグリップ部分を矢印の方向に回して、サイドハンドル⑬の締め付けバンドを緩めます。
2. サイドハンドル⑬を回して、作業に適した位置に合わせます。
3. 締め付けバンドが、奥まではまっていることを確認します。



注意

◆ 締め付けバンドがスリーブ②に触れないように注意してください。
スリーブ②に接触した状態で固定すると、スリーブ②が損傷します。


4. サイドハンドル⑬のグリップ部分を矢印の方向に回して、締め付けバンドをしっかりと締めます。
締め付け後、ガタつきがないか確認してください。ガタつきがある場合は、取り付け直してください。

 作業に適した位置にサイドハンドル⑬を固定すると、作業中に安定した姿勢が
取れ、疲労を減らすことができます。

● 先端工具を選ぶ


SDSプラスシャンクの先端工具

SDSプラスビットS4




コンクリートなどの穴あけ

アンカー打込棒



ストレートシャンクの先端工具


振動ドリルビット




コンクリートなどの穴あけ

ドリルビット

鉄工用

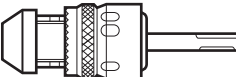


木工用



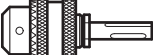
木材、金属などの穴あけ

別売

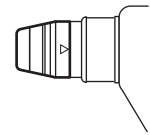


SDS13mmハンマーチャック

別売



SDS回転チャックセット



使
い
方

● SDS プラスシャンクの先端工具（または別売アクセサリ）を 取り付ける・取り外す



警告

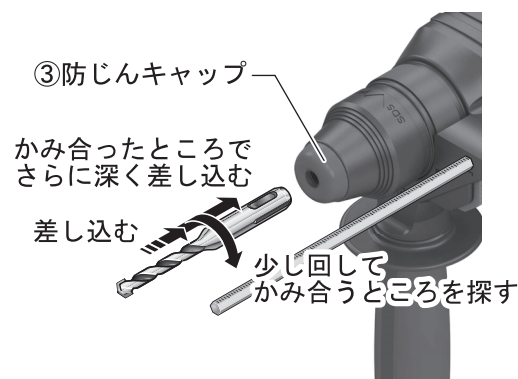
- ◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑨をハンマードリル本体から取り外してください。



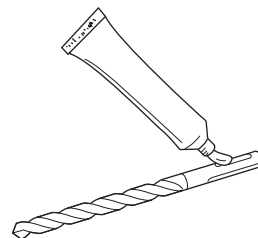
注意

- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。
- ◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。
- ◆ 本体の故障を防ぐために、防じんキャップ③に異常がないか確認してください。損傷がある場合は交換が必要です。
（「修理を依頼するときは」を参照してください）

取り付け



1. 先端工具の挿入部分を清掃し、グリスを塗ります。

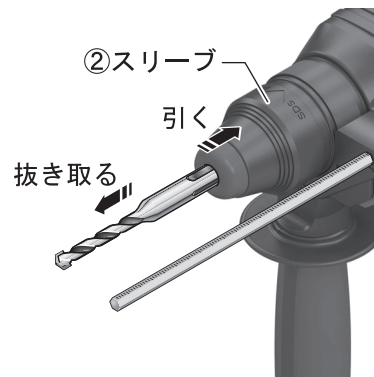


2. 先端工具を取り付け孔に差し込み、少し回してかみ合うところを探します。

使
い
方

3. かみ合ったところで、さらに深く差し込み固定します。
4. 確実に取り付けられたかどうか、先端工具を引いて抜けないことで確認します。

取り外し



スリーブ②を後方へ引きながら、先端工具を抜き取ります。

使
い
方

● SDS 回転チャックセット（別売）を取り付ける・取り外す

ストレートシャンクドリルの先端工具を使用するときは、別売アクセサリーのSDS 回転チャックを取り付けてください。

取り付け

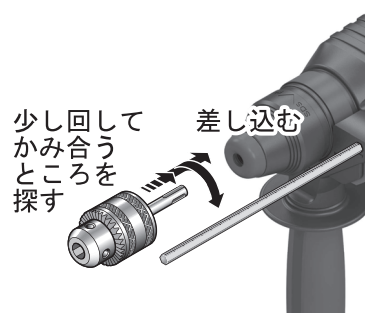
1. 防じんキャップ③に損傷がないか確認します。
損傷がある場合は、直ちに交換してください。
☞ 防じんキャップ③が損傷していると、ツールホルダー④に粉じんが侵入する原因になります。
☞ 防じんキャップ③の交換は、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターに依頼してください。

2. キーチャックの挿入部分を清掃し、グリスを塗ります。

3. キーチャックを本体の取り付け孔に差し込み、少しかみ合うところを探します。

4. かみ合ったところで、さらに深く差し込みます。

5. 確実に取り付けられたか、キーチャックを引っ張り、抜けないこと確認します。



使
い
方

取り外し

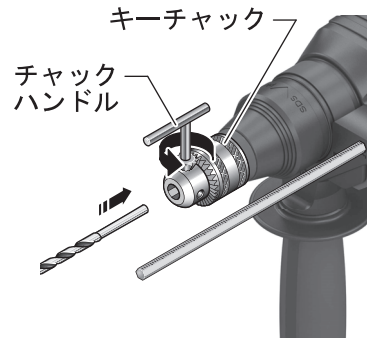
スリーブ②を矢印の方向にスライドさせ、そのまま、キーチャックを引き抜きます。



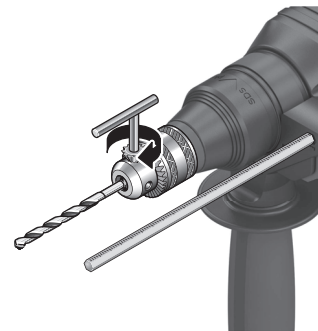
● キーチャックに先端工具を取り付ける・取り外す

取り付け

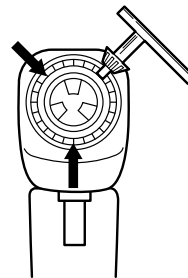
1. キーチャックが取り付けられているか、確認します。
2. チャックハンドルをキーチャック外周にある穴に差し込み、矢印の方向に回してチャックを緩めます。
3. 先端工具をチャックに差し込みます。



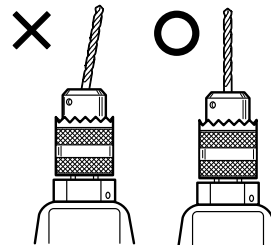
4. チャックハンドルをキーチャック外周にある穴に差し込み、チャックハンドルを矢印の方向に回して、チャックを締めます。



キーチャック外周にはチャックハンドルを差し込む穴が3つあります。3か所で均等に締めてください。3か所で締めないと、先端工具のつかみ具合が不十分になります。



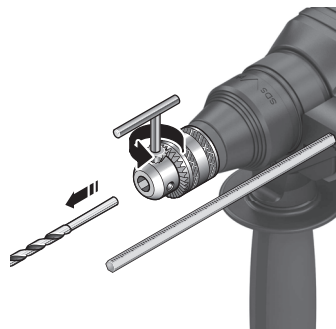
5. キーチャックのつめが先端工具を均等につかんでいることを確かめます。



使
い
方

取り外し

1. チャックハンドルをキーチャック外周にある穴に差し込み、チャックハンドルを矢印の方向に回してチャックを緩めます。
2. キーチャックから先端工具を抜き取ります。



● 深さゲージを取り付ける・取り外す

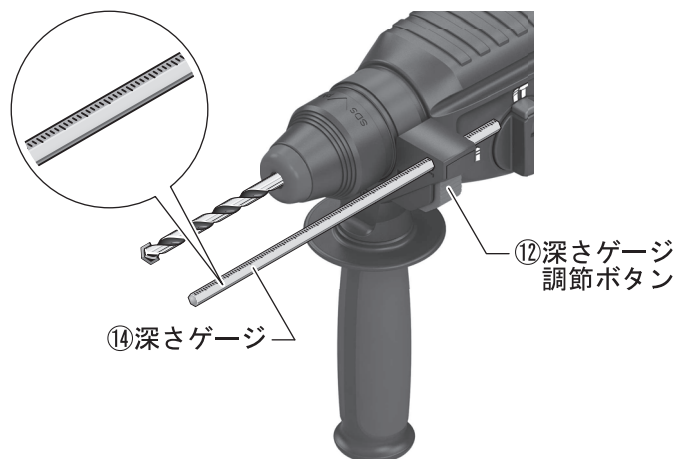
取り付け（穴あけ作業時に役立つ）

「深さゲージ調節ボタン⑫」を押しながら、深さゲージ⑭を差し込みます。

- ☞ 深さゲージ⑭のギヤ部分を上に向けて、サイドハンドル⑬に取り付けてください。
- ☞ 取り付け後、先端から押し込んで、動かないことを確認してからご使用ください。


取り外し

「深さゲージ調節ボタン⑫」を押しながら、深さゲージ⑭を抜き取ります。




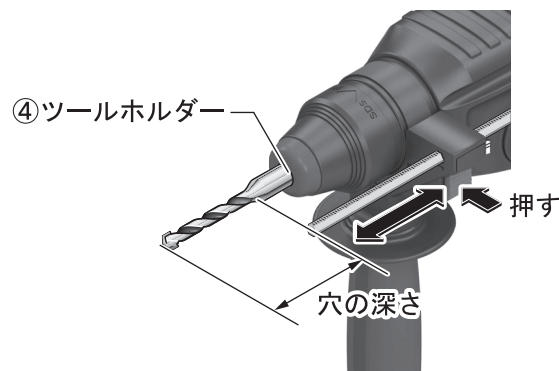
使
い
方


作業する

-  **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑨を取り付ける前に、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が“安全ロックの位置（中央）”になっていることを確認してください。
- ◆ 必ずサイドハンドル⑬を取り付けた状態で作業してください。


1 深さゲージを調節する（穴あけ作業時）

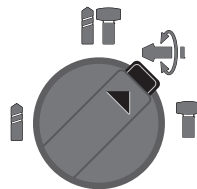
1. 「深さゲージ調節ボタン⑫」を押しながら、あけたい穴の深さに合わせて深さゲージ⑭を動かします。
 ドリルビットをツールホルダー④の後方に押し込んで、あそびのないことを確認してください。




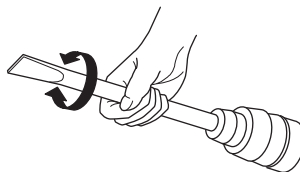
2. 位置決めが終わったら、「深さゲージ調節ボタン⑫」から指を離します。
 深さゲージ⑭を先端から押し込んで、動かないことを確認してください。

2 破つり用先端工具の作業位置をセットする（破つり作業時）

1. 「作業切り替えレバーロック解除ボタン⑤」を押しながら、「作業切り替えレバー⑪」を  の位置に合わせます。



2. 先端工具を回転させ、作業する場所や向きに合わせます。
先端工具の向きは、44段階にセットすることができます。
「作業切り替えレバー⑪」を  の位置にすると先端工具は固定されます。




3 ハンマードリル本体にバッテリーを取り付ける



警告

- ◆ 指定されているバッテリー⑨のみ、使用してください。
- ◆ 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が“安全ロックの位置（中央）”になっていることを確認してから、バッテリー⑨を取り付けてください。

バッテリー⑨を、ハンマードリル本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

 本機は、「バッテリー取り外しボタン⑩」が押されただけではバッテリー⑨が外れないよう、バッテリー⑨の取り付けが二重ロックになっています。

使
い
方

4 「作業切り替えレバー⑪」を作業に合わせた位置にしっかりと切り替える（次ページの図参照）

「作業切り替えレバーロック解除ボタン⑤」を押しながら「作業切り替えレバー⑪」を切り替えます。

“カチツ”と音がして、「作業切り替えレバー⑪」が正しくセットされたことを確認してください。

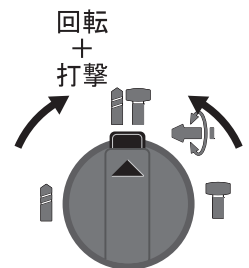
- 注意** ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「作業切り替えレバー⑪」を切り替えてください。
「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込んでいるとき、「作業切り替えレバー⑪」は切り替えないでください。

5 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」を切り替える

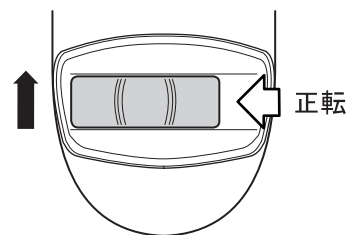
- 注意** ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」を切り替えてください。「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込んでいるとき、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」は切り替えないでください。

使
い
方

コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ



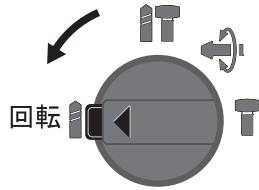
作業切り替えレバー



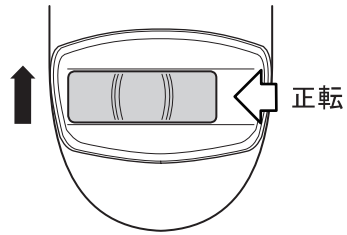
正転・逆転・安全ロック
切り替えスイッチ

木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

ネジの締め



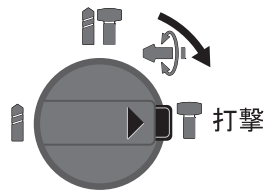
作業切り替えレバー



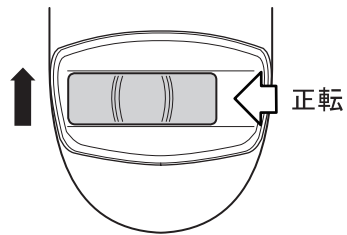
正転・逆転・安全ロック
切り替えスイッチ

破つり

アンカー打設

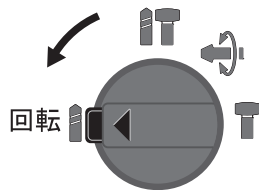


作業切り替えレバー

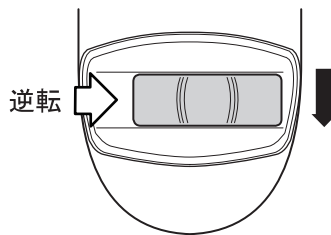


正転・逆転・安全ロック
切り替えスイッチ

ネジの緩め




作業切り替えレバー




正転・逆転・安全ロック
切り替えスイッチ


使
い
方


6 「電子無段変速スイッチ」を操作する

-  **警告**
- ◆ 作業中に振り回されないよう、ハンマードリル本体のグリップとサイドハンドル⑬をしっかり保持して作業してください。
確実に保持していると、キックバックの衝撃をコントロールできます。
 - ◆ 使用中に先端工具が材料に挟まれたり、食い込んだりしたときは、「電子無段変速スイッチ⑧」を切ってください。
先端工具が挟まれたり、食い込んだりしたまま作業を続けると、反発（キックバック）の起こる可能性があり、大変危険です。

-  **注意**
- ◆ 作業時、ハンマードリル本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押しつけると、先端工具を傷めて作業効率が下がったり、本体が故障したりします。
 - ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
 - ◆ 長いネジを締めるときは、ドライバービットがネジから外れないように注意してください。
 - ◆ 先端工具が材料に引っ掛かったり、斜めに進んだりすると、過負荷クランチの働きにより回転が止まります。ハンマードリル本体の損傷を防ぐため、引っ掛かった先端工具を引き抜く前に本体を先端工具から取り外してください。

使
い
方

 「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込むとLEDライト⑥が点灯します。

-  **注意**
- ◆ LEDライト⑥点灯中に、LEDライト⑥を直接のぞき込まないでください。一時的に視力に影響を及ぼす場合があります。

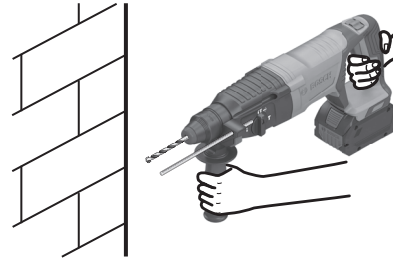
本機には、電子セル保護システム（ECP 機能）がついております。本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または高温になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

本体が停止している状態で「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込み続けると、故障の原因になります。

穴あけ

1. 先端工具を材料に当てます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込みます。



- ☞ 「電子無段変速スイッチ⑧」の引き込む加減で、回転数・打撃数が調節できます。
- ☞ 止めるときは、「電子無段変速スイッチ⑧」から指を放してください。ブレーキの働きにより、あけ過ぎを防ぎます。このとき、通風口内から火花が発生する場合がありますが、異常ではありません。

ネジ締め

1. 先端工具のネジ頭を溝に合わせます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込みます。

- ☞ 「電子無段変速スイッチ⑧」の引き込む加減で、回転数が調節できます。

キックバック防止機能（ERC）

本機にはキックバック防止機能（ERC）がついております。
内蔵された加速度センサーがキックバックの可能性を感知した場合、瞬時にモーターを停止し、キックバックを回避します。
キックバック防止機能が働くと、LED ライト⑥が点灯します。
一度「電子無段変速スイッチ⑧」から指を放し、再度「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込むと、再起動できます。

使
い
方

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
「電子無段変速スイッチ⑧」を引き込んでも、回らない	バッテリー⑨が消耗している	バッテリー⑨を充電するか、交換する
	バッテリー⑨の温度が 60℃を越えている	バッテリー⑨が最適温度範囲内に下がるまで待つか、交換する
	ハンマードリル本体の温度が 90℃を越えている	許容操作温度範囲内に下がるまで待つ
「電子無段変速スイッチ⑧」が引き込めない	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が“安全ロック”または、中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
穴あけなどに時間がかかる(穴があかない)	先端工具が摩耗している	先端工具を研磨するか、交換する
	バッテリー⑨が消耗している	バッテリー⑨を充電するか、交換する
	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が“逆転”の位置になっている	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」を“正転”の位置に切り替える
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑨の寿命が尽きた	バッテリー⑨を交換する

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00~午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪 1464 番地 4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032


ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1


TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは

お手入れと保管


-  **警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑨をハンマードリル本体から取り外し、お手入れしてください。

クリーニング

- 通風口やスリーブなどに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
 本体に切り粉やホコリがたまると故障の原因になります。
 - 乾いた、柔らかい布でハンマードリル本体の汚れをふき取る
 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。
- 
- 「バッテリー取り外しボタン⑩」やバッテリー装着部分についたゴミ、ホコリなどを吹き飛ばす
 - ツールホルダーの先端工具挿入部分を清掃する

点検

保
お
手
入
れ
と
管

- 防じんキャップ③に損傷がないか点検する
 防じんキャップ③に損傷がある場合は、直ちに交換してください。
交換は、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターに依頼してください。

保 管

● ハンマードリルを使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリー⑨は 50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。

